

山梨県知事 様

重度心身障害者医療費の窓口無料復活を求める要望署名

重度心身障害者医療費の窓口無料復活を求める会

呼びかけ人代表

北嶋 恒男 (山梨県難病・疾病団体連絡協議会事務局長)

佐久間史郎 (山梨県精神障害者家族会連合会会長)

雨宮絵里香 (重度心身障害児の母)

宇藤 健司 (石和共立病院リハビリ専門医)

桜井 大介／望月 弘勝 (睦美会共同代表)

馬場 正江 (山梨県身体障害者連合福祉会会長)

下村 幸仁 (山梨県立大学人間福祉学部教授)



【要望趣旨】

山梨県では障害者や支援者の長年の運動の結果、2008年4月に重度心身障害者医療費助成制度がそれまでの償還払い方式から窓口無料方式に変更されました。当事者にとっても喜ばれ、県も当初は窓口無料化により一段と使い勝手の良い制度となり障害者福祉の増進に寄与している、と評価していました。

ところが、県は財政負担を理由に2014年11月に償還払い方式に戻し、障害者は病院や薬局の窓口でいったん現金を支払わなければならなくなりました。

その結果、「受診後すぐに帰れず、車いすの上で早く帰りたいと訴える家族を見るのがつらい」「家計は苦しく食べていだけでやっとな。3ヵ月後に医療費が返ってくるといっても手元にお金がないので病院に行けなくなった」「入院や薬代など高額なときは苦しい」などの切実な声があがっています。

誰でも、自分や家族が障害者になる可能性を持っています。重度障害者になっても安心して生活し医療を受けられるように次のことを実施してください。

【要望項目】

- 1、重度心身障害者医療費助成制度を窓口無料方式に戻してください。

氏名	住所
	山梨県
	山梨県
	山梨県
	山梨県
	山梨県